

登別市財務会計システム構築等業務委託公募型プロポーザル評価基準

1 基本的な評価事項

業務実績、実施体制等を総合的に評価し、本市に最もメリットのある事業者を選定するため、公募型プロポーザル方式を採用し、評価点の最も高い提案者を受託候補者とする。

2 評価点

企画提案書等の内容を評価し、評価点を与えます。登別市財務会計システム構築等業務委託公募型プロポーザル選定委員会委員（以下「選定委員」という。）1人あたりの評価点の満点は100点とする。

3 評価点の最も高い者が2者以上あるときの対応

評価項目のうち「企画提案」の評価点合計が高い者を受託候補者とする。

これも同点となった場合は、選定委員の投票で多数決により当該同点者の順位を決定する。票数が同数の場合には委員長の判断により決定する。

4 選定委員会を欠席した選定委員の評価点の取扱い

選定委員が選定委員会を欠席した場合、その選定委員の評価点は無効とする。

5 評価方法

（1）評価項目、評価事項及び配点については、「評価基準」のとおり。

（2）各評価項目について、「優れている」、「やや優れている」、「普通」、「やや不十分」、「不十分」の5段階評価を行う。評価項目によって「10点」及び「5点」の配点とし、各項目のそれぞれの配点を評価基準表の「■配点の考え方」のとおりとする。
例えば、配点が10点の項目の場合、評点は次のとおり。

「優れている」の評価点は 10点

「やや優れている」の評価点は 8点

「普通」の評価点は 6点

「やや不十分」の評価点は 4点

「不十分」の評価点は 2点

（3）機能要件等一覧表について、○：対応可能、×対応不可の回答内容に基づき、事務局にて事前に採点を行う。配点等については次のとおり。

※配点（20点）×（獲得点／総得点）

※獲得点は○：1.0点、×：0点とする。

※配点を乗じた点数は小数点第1位までを有効とし、小数点第2位以下は切り捨て。

（4）全ての評価項目を絶対評価により採点する。

（5）選定委員の持ち点の合計の60%を基準点とする（仮に選定委員を6人とした場合、6人全員が選定委員会に出席した場合の満点は600点、基準点は360点）。基準点に達しない場合は不適格とする。

評価基準表

評価項目		評価事項	配点	参照
事業者体制	業務実施・推進体制	組織体制、人員配置、役割分担等が具体的に示され、配置担当者の能力・実績等が本業務を円滑かつ効果的・効率的に遂行するスケジュールで実施できるものであるか。	5点	企画提案書
	業務実績	本業務と同様の業務を受託した実績は十分にあるか。	5点	企画提案書
	情報セキュリティ	本業務に係るセキュリティ対策が明確に示されているか。	5点	企画提案書
費用対効果	運用経費	積算されたサービス内容に対し、費用対効果は高いか。	5点	参考見積書、 企画提案書
	維持管理経費	令和8年度以降の経費について、費用対効果は高いか。	5点	参考見積書
企画提案	業務理解度	本業務の目的を理解し、的確な考え方を有しており、目的を達成するうえで、効果的かつ効率的な提案となっているか。	10点	企画提案書
	システム性能	システムの基本性能は有効な機能（使いやすさ、分かりやすさ等）を備えているか。	5点	企画提案書
		利便性の向上や業務負担の軽減等が図られるシステムとなっているか。	5点	
		仕様書に明示されていない本市にとって有益な独自提案はあるか。	5点	
	構築及び移行	システム稼働までの構築作業やシステム間連携、現行システムからのデータ移行はスムーズにおこなえるか。	10点	企画提案書
	支援体制	運用開始前後の支援体制（操作研修、問い合わせ等）は適切な提案となっているか。	5点	企画提案書
		仕様書に明示されていない本市にとって有益な独自提案はあるか。	5点	
	機能要件等一覧表	機能要件等一覧表の対応状況について（○：1.0点、×：0点） 配点（20点）×（獲得点／総得点） ※配点を乗じた点数は小数点第1位までを有効とし、小数点第2位以下は切り捨てる。	20点	機能要件等 一覧表
プレゼンテーション	信頼性及び取組意欲	実際に業務に関わる担当者が、提案内容に偽りなく、明瞭かつ誠実に説明しているか。業務の執行にあたり、取組姿勢及び考え方が妥当であり、業務に対する意欲が高いか。	10点	企画提案書
合計			100点	

■配点の考え方

評価	配点	
	10点の項目	5点の項目
優れている	10	5
やや優れている	8	4
普通	6	3
やや不十分	4	2
不十分	2	1